

## 取扱いの趣旨

ポビドンヨード含嗽液及びデカリニウム塩化物の効能・効果に該当しない傷病名に対する算定は原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年5月31日》

### 170 ポビドンヨード含嗽剤及びデカリニウム塩化物の算定について①

#### ○ 取扱い

次の傷病名に対する含嗽剤及びデカリニウム塩化物（ＳＰトローチ）の算定は、原則として認められない。

- (1) 気管支炎
- (2) 肺炎
- (3) 副鼻腔炎
- (4) アレルギー性鼻炎、花粉症

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

ポビドンヨード含嗽液（イソジンガーグル液）とデカリニウム塩化物（ＳＰトローチ）の添付文書の効能・効果は、「咽頭炎、扁桃炎、口内炎」であり、口腔内から扁桃に至る部位の炎症に対して使用する。

上記(1)から(4)の傷病名は下気道又は鼻腔に係る疾患であり、含嗽剤及びデカリニウム塩化物の有用性は低いと考えられる。

以上のことから、上記傷病名に対する含嗽剤及びデカリニウム塩化物（ＳＰトローチ）の算定は、原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	兵庫、滋賀、宮城、和歌山、岐阜、三重、岩手、高知、埼玉、新潟	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	兵庫、三重、和歌山、新潟、高知、滋賀、岐阜、埼玉、宮城	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	岩手、宮城、和歌山、兵庫、滋賀、三重、埼玉	〃

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、咽頭炎を伴う気管支炎に対する咽頭の殺菌消毒目的の使用であり、当該薬剤の効能効果や薬理作用から、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年11月～2025年1月審査分

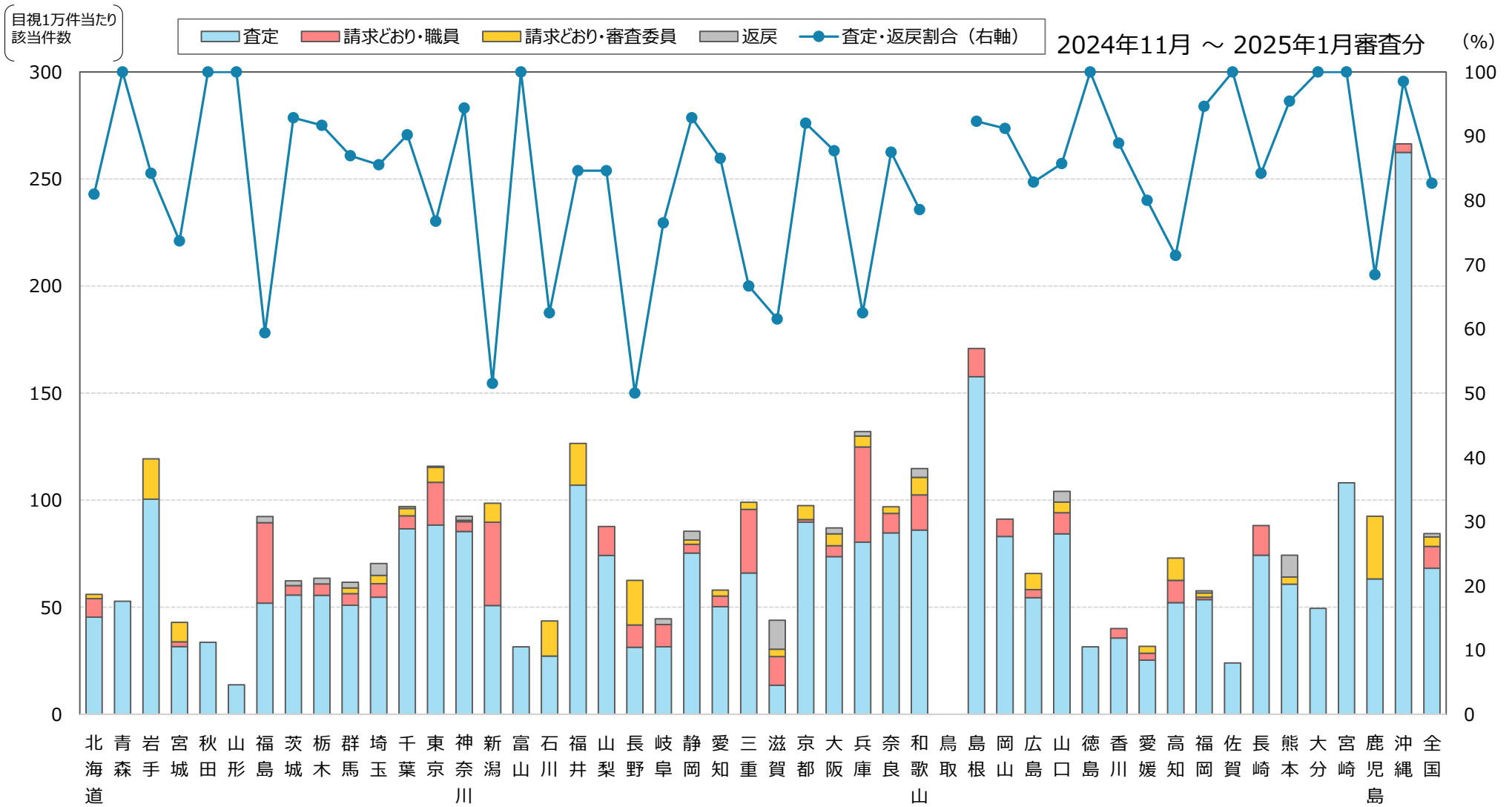
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,250件のうち、**取扱いと異なる審査は155件（6.89%）**  
検証対象27都道府県のうち、**フォローアップ対象は10都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							詳記等 から適正				
01 北海道	84	83	98.81%	68	0	68	15	1	1.19%	1	0
02 青森	12										
03 岩手	19	16	84.21%	16	0	16	0	3	15.79%	0	3
04 宮城	19	14	73.68%	14	0	14	0	5	26.32%	1	4
05 秋田	5										
06 山形	2										
07 福島	32	32	100.00%	18	1	19	13	0	0.00%	0	0
08 茨城	28										
09 栃木	24										
10 群馬	23	23	100.00%	19	1	20	3	0	0.00%	0	0
11 埼玉	90	78	86.67%	70	7	77	1	12	13.33%	8	4
12 千葉	112										
13 東京	400	389	97.25%	305	2	307	82	11	2.75%	5	6
14 神奈川	142										
15 新潟	33	29	87.88%	17	0	17	12	4	12.12%	4	0
16 富山	4										
17 石川	8	8	100.00%	5	0	5	3	0	0.00%	0	0
18 福井	13	12	92.31%	11	0	11	1	1	7.69%	0	1
19 山梨	13	13	100.00%	11	0	11	2	0	0.00%	0	0
20 長野	18	18	100.00%	9	0	9	9	0	0.00%	0	0
21 岐阜	17	14	82.35%	12	1	13	1	3	17.65%	3	0
22 静岡	42										
23 愛知	104	100	96.15%	90	0	90	10	4	3.85%	4	0
24 三重	30	25	83.33%	20	0	20	5	5	16.67%	4	1

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							詳記等 から適正				
25 滋賀	13	9	69.23%	4	4	8	1	4	30.77%	3	1
26 京都	75										
27 大阪	293	267	91.13%	248	9	257	10	26	8.87%	14	12
28 兵庫	184	120	65.22%	112	3	115	5	64	34.78%	57	7
29 奈良	32	29	90.63%	28	0	28	1	3	9.38%	2	1
30 和歌山	28	23	82.14%	21	1	22	1	5	17.86%	3	2
31 鳥取	0										
32 島根	13										
33 岡山	34										
34 広島	35	33	94.29%	29	0	29	4	2	5.71%	0	2
35 山口	21	21	100.00%	17	1	18	3	0	0.00%	0	0
36 徳島	5										
37 香川	9	9	100.00%	8	0	8	1	0	0.00%	0	0
38 愛媛	10	10	100.00%	8	0	8	2	0	0.00%	0	0
39 高知	7	6	85.71%	5	0	5	1	1	14.29%	1	0
40 福岡	56										
41 佐賀	3										
42 長崎	19	18	94.74%	16	0	16	2	1	5.26%	1	0
43 熊本	22										
44 大分	11										
45 宮崎	20										
46 鹿児島	19	19	100.00%	13	0	13	6	0	0.00%	0	0
47 沖縄	67										
全国	2,250							155	6.89%	111	44

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



該当件数	84	12	19	19	5	2	32	28	24	23	90	112	400	142	33	4	8	13	13	18	17	42	104	30	13	75	293	184	32	28	0	13	34	35	21	5	9	10	7	56	3	19	22	11	20	19	67	2,250
請求どおり件数	16	0	3	5	0	0	13	2	2	3	13	11	93	8	16	0	3	2	2	9	4	3	14	10	5	6	36	69	4	6	0	1	3	6	3	0	1	2	2	3	0	3	1	0	0	6	1	390

【該当件数】気管支炎、肺炎、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎又は花粉症に対し含嗽剤又はデカリニウム塩化物（SPトローチ）を算定を算定しているレセプト件数